

改善箇所説明図

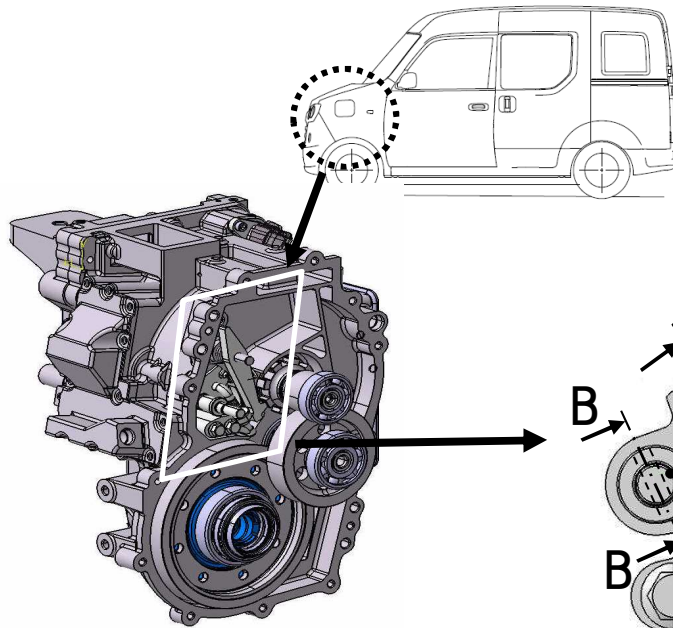


図1 パワートレインユニット外観
(RH側カバー取外し状態)

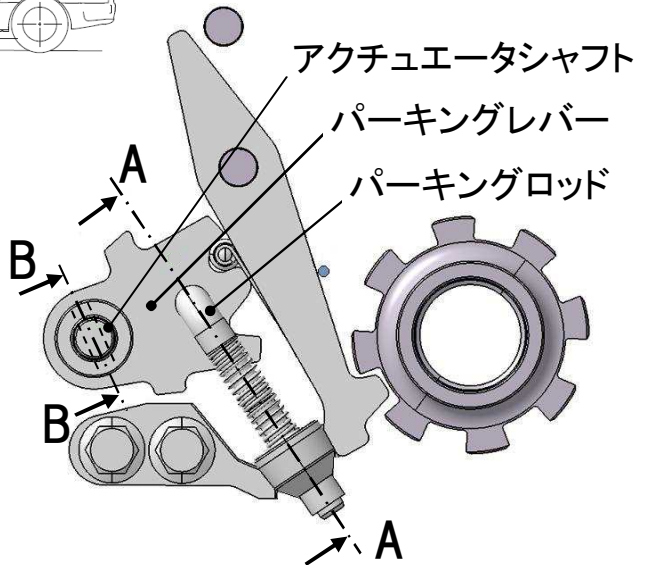


図2 パーキングロック部

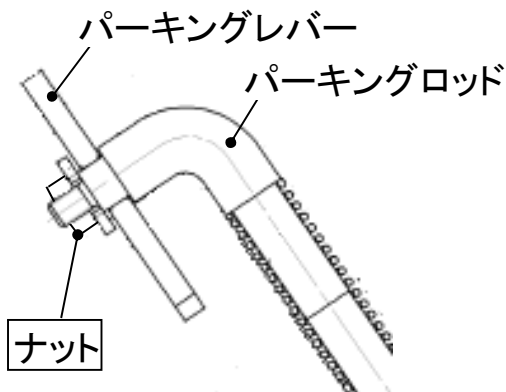


図3 A-A 断面

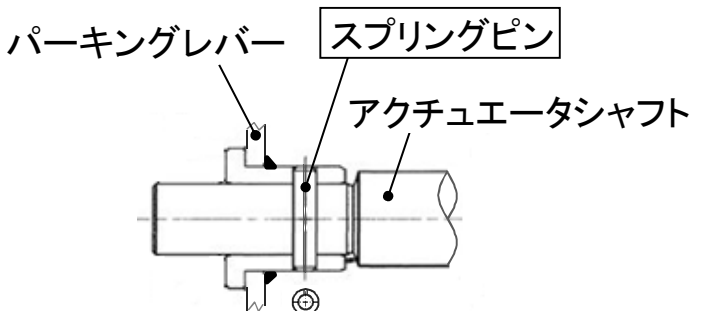


図4 B-B 断面

注: は不具合部位を示す

不具合内容

①パーキングロッドにおいて、製造時にパーキングロッドとパーキングレバーを接続するナットの取付部にゆるみ止め剤を塗布していないため、変速機を繰り返し作動させると、ナットがゆるむおそれがある。そのため、そのままの状態で使用すると当該ナットが脱落して、最悪の場合、走行中にギヤにナットが噛み込み、車輪がロックするおそれがある。

②アクチュエータシャフトにおいて、アクチュエータシャフトとパーキングレバーの接続方法が不適切なため、変速機を作動時にスプリングピンに力が加わり変形が生じることがある。そのため、スプリングピンがずれ、そのままの状態で使用すると、当該ピンが抜け落ち、最悪の場合、走行中にギヤにピンが噛み込み、車輪がロックするおそれがある。

改善内容

- ①ナット締付構造を中止し、円筒管溶接構造に変更する。
- ②スプリングピンを挿入後、外周に円筒管を被せた抜け止め構造に変更する。